

2025年3月28日

【重要】

銀行や警察官を装った電話案内等にかかる注意喚起について

銀行の担当者やヘルプデスク、または警察官を名乗り、電話(自動音声あり)等にてメールアドレスを聞き出したうえで銀行の偽サイトに誘導し、言葉巧みに「インターネットバンキングのログインや振込を誘導する」詐欺被害が頻発しています。

当行や警察から電話やメールでお客さまのアカウント情報をお聞きしたり、入力をお願いすることはありません。**案内には絶対に回答せず、電話をお切りください。**

【確認されている手口】

- ・犯人が金融機関担当者を騙り、被害者に電話を掛け(自動音声の場合あり)メールアドレスを聞き出す。
- ・犯人がフィッシングメールを送信し、電話で指示しながら(片言の外国人が多い)被害者を偽サイトへ誘導し、インターネットバンキングのアカウント情報の入力や遠隔操作のダウンロードを指示する。
- ・パソコンのセキュリティ確認のためと偽る、または、インターネット利用中に突然「あなたのパソコンはウイルスに感染しました。すぐにお電話ください。」といった警告画面が表示され、悪質なサポート窓口へ電話誘導し、被害者にインターネットバンキングを操作させ、暗証番号やトークン情報を言葉巧みに聞き取り、被害者の口座から資金を不正に送金する。
- ・警察官役の犯人は、「あなたは逮捕される」などと不安をあおり、資産状況を聞き出したうえで「資産を保護する」「口座を調査する」などと言って、お金を振り込むよう要求する。

【被害にあわないために】

- ・知らない電話番号からの着信には出ない。
- ・相手の言い分を鵜呑みにせず、冷静な対応を心掛ける。(近くの人に相談する)
- ・パスワードやお金の話が出たら「詐欺」を疑う。パスワード等は絶対に伝えない。
- ・警視庁や他府県の警察を名乗る者からの電話があった場合は、相手に「所属、担当部署、氏名、内線番号」を確認する。

万一、そのような電話を受けたり、インターネットバンキングの情報を伝えてしまった場合は、ただちに最寄りの警察及び当行までご連絡下さい。

【本件に関するお問合せ先】

システム統括部 デジタルソリューショングループ

フリーダイヤル 0120-273-373

受付時間：銀行営業日 9：00～17：00